

大学コンソーシアム大阪 特別講座「AIでどうなる？わたしたちの将来」

受講者アンケート集計結果(調査対象:学生)

回答者数18名／受講者数 8大学20名 ※院生含む(回答率90%)

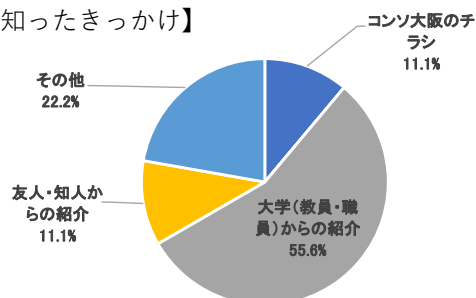
Q1.今回の講座を知ったきっかけ

1 コンソ大阪のチラシ	2
2 コンソ大阪のHP・SNS	0
3 大学(教員・職員)からの紹介	10
4 友人・知人からの紹介	2
5 その他	4

5.その他

- ・大学のインフォメーションシステム
- ・父の案内
- ・関大インフォメーションシステム

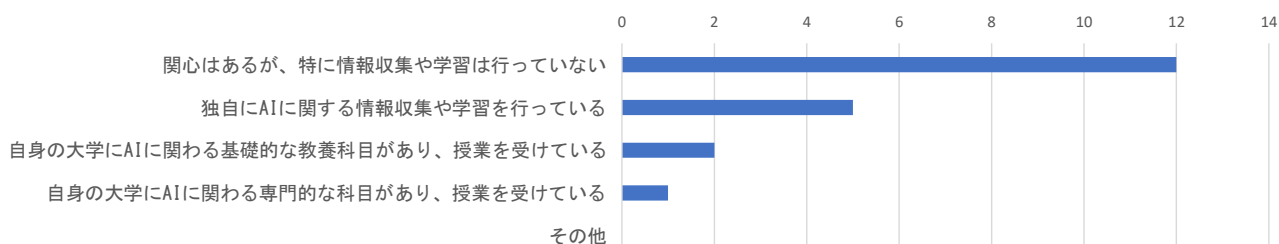
【知ったきっかけ】



Q2.自身のAIに関する学びについて(複数選択可)

1 関心はあるが、特に情報収集や学習は行っていない	12
2 独自にAIに関する情報収集や学習を行っている	5
3 自身の大学にAIに関わる基礎的な教養科目があり、授業を受けている	2
4 自身の大学にAIに関わる専門的な科目があり、授業を受けている	1
5 その他	0

【AIに関する学びについて】



Q3.今回の講座への参加動機(複数選択可)

1 AIに関する基礎的な知識を身につけたかったから	15
2 今後のAIの動向に興味があったから	7
3 自身の就職に役立つと思ったから	2
4 おもしろそうだったから	2
5 AIに関する専門的な知識を身につけたかったから	1
6 その他	2

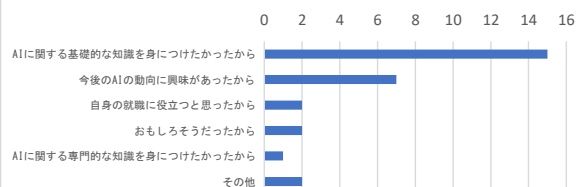
4.おもしろそうだった内容

- ・テーマ
- ・講義内容

6.その他

- ・暇だったから
- ・社会教育や福祉等、専攻内容への活用の際に際するヒントが得られると思った為。

【参加動機】



Q4. 今回の講座の実施日程について

●実施時期

1 適切であった	18
2 適切ではなかった	0

●曜日・時間帯

1 適切であった	18
2 適切ではなかった	0

●講義時間

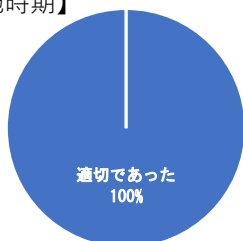
1 適切であった	17
2 適切ではなかった	1

・希望時間 3時間

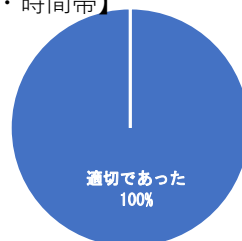
●講義回数

1 適切であった	17
2 適切ではなかった	0

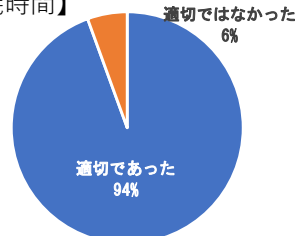
【実施時期】



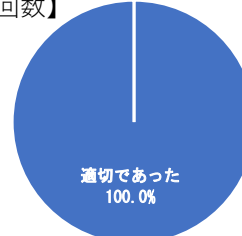
【曜日・時間帯】



【講義時間】



【講義回数】



Q5. 今回の講座の理解度

●第1部 そもそもAIとは？

1 よく理解できた	14
2 理解できない部分もあった	4
3 あまり理解できなかった	0

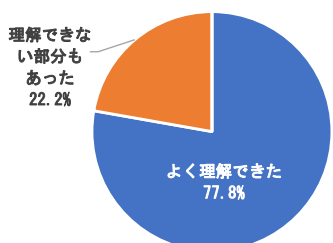
●第2部 AIが生かされる現場

1 よく理解できた	17
2 理解できない部分もあった	1
3 あまり理解できなかった	0

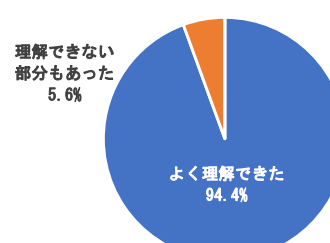
●第3部 AI未来予想図

1 よく理解できた	14
2 理解できない部分もあった	4
3 あまり理解できなかった	0

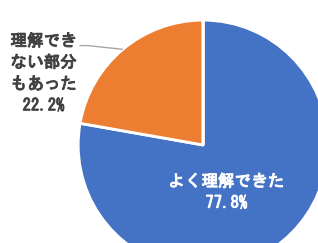
【第1部】



【第2部】



【第3部】



Q6. 今回の講座でためになったと思える内容

- ・ AIといっても、種類があること、用語についてざっくりとだが理解できたこと。
- ・ AIの種類と特徴の大まかな内容を知る事が出来た為、得意、不得意の理解と私達に求められる姿勢が明確化されたと思います。
- ・ AIの基礎的な知識が復習できたところ
- ・ 講座の中で教えられた知識に関して、ディスカッションすることで他人の意見が聞けたのが良かった。
- ・ 世間の中でよく聞く”AI”という言葉について、どのようなものがよく分かった。
- ・ AIが出来る大まかな事
- ・ 今後、AIに置き換わる職業
- ・ 機械学習とは何か、人工知能とは何か、図解されており明快であった。
- ・ AIに何が出来るかできないかや、活かせる職場など、AIを人間がどう判断して使うかや、AIとは具体的に何かという事が分かりました。
- ・ AIについて、基礎から学ぶことができた。グループワークを通じて、AIの未来や人との関りを議論できた。
- ・ AIの基礎が計算機・論理学・生物学であったこと。AIを理解する上で、上記、三分野への関心が沸いた。
- ・ AIに使われるのではなく、AIを使って人間がより良い生活を送れるようになっていかないとけないと思ひ、AIを使う側になっていこうと思った。
- ・ AIの定義。AIの得意・苦手分野のこと。
- ・ AIと今後の仕事について。各言葉の具体的な意味について。
- ・ 無知だった部分を少し補うことができた。
- ・ AIと人間について考える際に、価値観や本質にフォーカスすることが大切だと感じました。
- ・ フレーム問題
- ・ 機械学習、AIの違い、仕組み、できること/できないこと。

Q7. 講座を受ける前と受けた後で「AI」のイメージについて

1 大きく変わった	3
2 少し変わった	9
3 あまり変わらなかった	5
4 変わらなかった	1

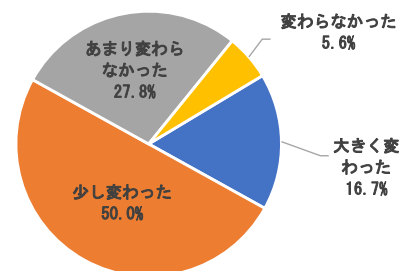
【1.と回答した理由】

- ・ プログラミング等は行っていたが、全体像がはっきり見えなかったところが明快になった。
- ・ 仕組みや何ができて、できないかがわかり、私たちがどうすべきかがわかるようになった。

【2.と回答した理由】

- ・ AIについて、何も知らなかった状態から思ったほど(ドラえもんのようなものを考えてました)のAIの現状存在していないと知ったこと。具体的なイメージを知れた。
- ・ AIに翻弄される人類というイメージから、より善く生きる為に機械学習を応用出来ると思いました。
- ・ AIができること、できないこと
- ・ AIが人間から見て、自然な顔を作れたりと自分が思っているよりもAIの技術が発展していて、AIに対しての認識を改めようと感じました。
- ・ AIのできること、できないことの整理や、代替可能ながらも実際は大きく変わっていない職業について聞き、考え直すきっかけになった。
- ・ AIと共存する社会の中で、AIにもできないことがあるということについて、今まで漠然としていた考えが明確になったこと。
- ・ あくまで計算にのっっているということ
- ・ 本などで悪い方の固定観念を強く持っていたが、少し柔軟に考えられた。
- ・ 良い方にも悪い方にも転がる。

【AIに対するイメージの変化】

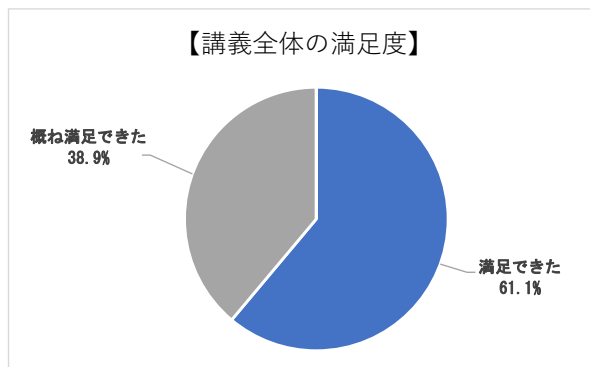


Q8. 今回の講座全体についての満足度

1 満足できた	11
2 概ね満足できた	7
3 満足できない点があった	0
4 不満だった	0

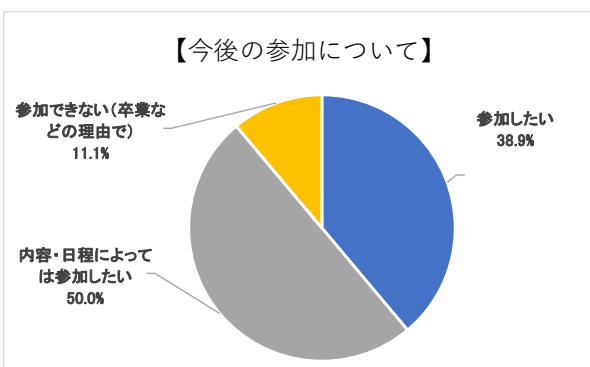
【改善点について】

- ・ 具体的な実習(希望者制?)などで、実習を設けてもいいと思った。



Q9. 今後、このような講座があれば参加したいか

1 参加したい	7
2 内容・日程によっては参加したい	9
3 参加したくない	0
4 参加できない(卒業などの理由で)	2



Q10. 今回のプログラムに参加して感じたことや考えたこと (自由記述)

- ・ 大学卒業した者でも、自費負担でも良いので、参加することができるとうれしいです。ご検討よろしくお願いします。
- ・ 3部構成で、具体例やディスカッションが豊富であったので、難しい内容もかみ砕いて楽しめました！また、このような機会があればよろしくお願いします。
- ・ もともとあった知識も復習できつつ、新しい知識も得られて良かった。
- ・ 難しい内容で理解するのに時間がかかった。
- ・ ソフトウェア開発や、マイコン実習など大学コンソーシアムのネットワークを生かした授業、ワークショップなどを開催してほしい。また共同研究やイノベーションのきっかけになってほしい。
- ・ グループワークで相互に意見を交換する事で、AIに対する親しみが増しました。
- ・ 自分の大学のコースからして、AIや機械学習について学ぶ機会は多く、研究でも関わる話だったが、専門というより基礎から見つめ直し、専門としていない方と学ぶことの大事さを感じた。
- ・ 大変勉強になりました。AIに対して誤解が多かったことに気づけて良かったです。上手く人間とAIが共存できるような時代になればと思います。
- ・ AIについて基礎的なことで分かっていないことが多いことに改めて気付きました。

Q11. 回答者について

1 大学生	17
2 大学院生	1
3 その他	0

